

平成 31 年度事業方針

地域農業を支える担い手の育成確保は、本県の農政推進にあたっての重要課題の一つであり、担い手の効率的で安定的な農業経営を可能にするため、担い手農家への農地の集積が求められている。

このため、公社では、担い手への農地集積を進めるため、県、市町及び農業協同組合等の関係機関・団体との一層の連携の下、保有農地の売却及び貸付事業を推進する。

また、厳しい環境におかれている本県畜産業の振興と酪農家の経営安定を図るため、2 放牧場において効率的に受託放牧事業を実施する。

① 保有農地の売却及び貸付事業

ア 能登開発地及び河北潟干拓農地については、経営規模拡大志向農家や新規就農者への売却を進めるとともに、一時貸付による有効活用に努める。

イ 河北潟ふれあい農園については、県民に河北潟干拓地における農業への理解を深めてもらうため、引き続き適切な管理運営を行う。

② 畜産振興事業

ア 辰口及び富来の 2 放牧場において、乳用・肉用牛の子牛を酪農家から預かり育て、種付けした後に酪農家に返す育成事業を実施し、酪農家の経営安定に資する。

富来放牧場では、生後間もない子牛を預かる哺育事業も併せて実施し、農家の子牛育成に係る労力の軽減を図る。

イ 内浦駐在所において、県畜産試験場能登畜産センターの草地及び家畜飼養管理業務を県から受託し、能登牛の生産振興に資する。